

2026年4月16日

熊本県の「わいた第2地熱発電所」における 発電および熱輸送設備の建設工事完了について

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社（社長：上中 孝之、以下「TGES」）は、このたび、わいた第2地熱発電株式会社^{*1}（社長：赤石 和幸）より受注し、2024年から建設工事を行ってきた「わいた第2地熱発電所」（発電出力4,995kW、以下「本発電所」）の発電および熱輸送設備の建設工事を完了しました。



わいた第二発電所（提供：ふるさと熱電）

本発電所はTGESが初めて発電および熱輸送設備の設計・施工を担った地熱発電所で、4月15日に竣工式が執り行われました。なお、発電所運営はふるさと熱電株式会社（以下「ふるさと熱電」）と合同会社わいた会^{*2}（以下「わいた会」）が連携して行います。

TGESは、LNG基地、地域冷暖房、エネルギーサービス^{*3}等の事業を通じて培ってきたユーザーズ・ノウハウに基づくエンジニアリングソリューションにより、本発電所を始めとして再生可能エネルギーの普及を推進し、2050年カーボンニュートラル実現に貢献していきます。

<本発電所の概要>

会 社 名	わいた第2地熱発電株式会社
所 在 地	熊本県阿蘇郡小国町大字西里字山際 3070 番 1 他
発 電 出 力	4,995kW
年間想定発電量	約 3,500 万 kWh/年（一般家庭約 8,950 世帯分相当*4）
方 式	シングルフラッシュ方式*5

*1：ふるさと熱電が設立した特別目的会社。

*2：わいた地区全30世帯の世帯主で構成された会社であり、小国町の地熱開発における地域調整を担う。

売電で得た収益の一部はわいた会に還元し、地区の整備や産業創出に活用している。

*3：エネルギーサービス事業者がエネルギーシステムを所有、メンテナンスまでワンストップで行い、利用者は初期投資不要でエネルギーサービス利用料を対価として支払うサービス。

*4：一世帯あたり3,911kWh/年で算出。（環境省資料より）

*5：高温高压の地熱流体を地上の汽水分離器で一度だけ減圧し、分離した蒸気を用いて蒸気タービンで発電する方式。地熱発電にはこのほかにダブルフラッシュ方式や、バイナリー方式等がある。



竣工式の様子（提供：ふるさと熱電）

<参考>

■熊本県の「わいた第2地熱発電所」における発電および熱輸送設備の建設開始（2024年6月6日発表）

<https://www.tokyogas-es.co.jp/information/press/2024/20240606.html>

■ライフサイクルコストを最適化した地熱発電プラントの実現へ ～地熱発電事業の競争力強化に向けた協業の覚書を締結～（2025年1月27日発表）

<https://www.tokyogas-es.co.jp/information/press/2025/20250127.html>

以上